

「函館校に望むこと」 佐々木 朗

本学を卒業して早二十余年、再び縁があり、ここで学ばせていただく事になった。若い学生さんと一緒に、今再び勉学できるすばらしさを毎日感謝している。今大学が再編されて、教養系キャンパスに生まれ変わろうとしている。教員養成課程はなくなる寂しさを感じつつも、教育に携わる人材が多く排出されるであろうことから、私は、次のことを函館校に望む。

#### 1. 心身共に調和のとれた人格の形成

教育における最大の環境は教師自身であるという言葉聞いたことがある。知識を身につけると共に、人格を磨くことのできるような人間教育をめざしていただきたい。学生同士の固い友情の絆が築かれ、そして、教官と学生の信頼・師弟関係を結ぶことができるよう、全教官が力を合わせて、相談、指導にあたる体制作りを構築して欲しい。

#### 2. 自分の確かな足跡を残すことができる教授体制

函館キャンパスで学ぶ4年間に、学生一人一人がこの大学で身につけたことを誇りに思えるようなことを持てるような指導体制を組んでほしい。私は学部時代に担当教官の熱心な指導のもとコンピュータ技術を身につけ、学校現場で生かすことができた。そして、今回の大学院では情報教育を学ぼうとしている。教育系大学ということで、あらゆる専門分野の教授陣が集まっている体勢を生かし、学生一人一人の持つ可能性を引き出していく体制作りを構築して欲しい。

大学の課程がどのように変わろうとも、私も含めて本学の卒業は皆、母校を誇りに、またその発展を願っている。そんな思いも励みにしていただきながら関係の皆様のご努力に期待していきたい。

氏名：佐々木 朗（あきら）

年齢：43歳

郵便番号：042-0922

住所：函館市銭亀町 210-13

電話番号：0138-58-1970

E-mail：hs4953m@cc.hokkyodai.ac.jp